

1	用語	意味	備考(大杉コメント)	各班	結果	表現の仕方	本委員会結果	検討経緯	
1	1	オーブントースター	食パンなどの食材を庫内で焼くことを目的に、内部のヒーターで加熱する電気機器。水平に並べる「オープン式」、縦方向に挿入する「ポップアップ式」がある。 https://kakakumag.com/seikatsu-kaden/?id=11124	右の手話を参考にオープン式、ポップアップ式、両方検討してください。	北海道	◎ ◎	オ)左手指文字「こ」(角の形)+右手扉を開ける動き ポ)…左手前方に倒したC 右手指文字くを下から上に上げる	◎ 創作手話	事務局案 蓋の取っ手を握って(掌上向き)手前にあける動作をし、5指を丸めた両手を上下においてパッと開く →書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。 ⇒①蓋の取っ手を握って手前にあける動作をし ②5指を丸めた両手を上下においてパッと開く ※東北班の案を採用
					東北	○	「オープン」+両手上下に2回開く		
					関東	●	甲下向きで握った左手を手前に引く。2指を開き水平に出す。(扉を開けてパンを中に入れる様子)		
					北信越		A(オープン式)扉を開ける+上下から熱を加える様子 B(ポップアップ式)パン+とびだす様子		
					東海	●	1.引き出し、パンを置く 2.トースターと同じ		
					近畿	○	オ)「パン」+片手でオープンのドアを上から下へ開ける動作 ポ)「パン」+手のひらで上に上がる様子		
					中国	保	オープンの戸開ける パン出す		
					四国	●	オープン:片手で/パン/もう一方で/扉を開ける/ トースター:片手で/パン/+もう一方で/パン		
					九州	●	非利き手で引き出す+利き手の掌を上にし、入れる		
2	2	前菜	食前または酒の肴に食べるつまみもの。(広辞苑第6版DVD-ROM版) 食前に出されるものであるから、あとの食事にさしわりや重複のないように、形も量も軽小で美味につくれる。(ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典)	「肴・おつまみ」もあわせて検討してください。 ＜つまみ(わ4-57)＞の別表現	北海道	●	〈最初〉+両手親指と人差し指で小鉢の形	● 組み合わせ	＜副食(おかず)(わ2-197)＞はあるが”おつまみ”の標準手話はないので、決まれば「前菜」「箸休め」が検討しやすい。 「おつまみ」はお酒などに合わせて食べる＜おつまみ＞ ⇒＜禁酒＞の1動作目+＜副食(おかず)＞ 「前菜」の1動作目は、9班の案では複数表現あるが、「手前」「おかず」または「最初」に運ばれる動作の2つにしほり検討した結果以下の表現を採用することに。 ⇒＜最初＞+おかずが目の前に運ばれるようす(＜ファーストフード＞の2動作目) ※近畿班の案を採用
					東北	●	「一番」+「副」		
					関東	●	掌手前で体の前で立てた右手を少し手前に引く+野菜		
					北信越		食べる+前+小鉢(背後から提供される様子) 「おつまみ」は副+つまんで食べる		
					東海	●	「手前」+「おかず」		
					近畿	ア	「最初」+皿の形を作って出す		
					中国	●	先+皿出す		
					四国	●	/先に(I-147)/ + /食べる/		
					九州	●	先+おかず		
3	3	箸休め	食事の途中の気分転換になるように作られた、ちょっとしたおかず。おつまみ。(広辞苑第6版DVD-ROM版) しっかりとした味わいや風味をもつ、焼き物や揚げ物、鍋、ご飯ものなど献立の主体となる料理と料理の間に提供される。酢の物や漬物、和え物、吸い物など、酸味や甘みがあるもの、淡泊で薄味なものなどが多く、例えば、油(脂)などでこってりとした口の中をリセットし、次に続く料理の風味や味わいを、より楽しめるようにする。 正式な日本料理では、料理と料理の合間に箸を休ませ、箸先を清めるという意味合いもあり、小吸い物など、汁仕立てのものである場合が多い。(日本の食べ用語辞典より)		北海道	●	〈味〉+口の横で〈新しい〉	● 組み合わせ	9班からのいくつかの案が出されている。本委員からは言葉通り＜箸＞を箸置きに置く案はどうか？主となる料理と料理の間に出てくる味の変化を楽しむことから＜味＞＜変わる＞はどうか？など、案が出されたが、漢字のとおり＜箸＞＜休む＞を採用。 ⇒＜箸＞+指先上向きで＜休憩＞の動作(＜換気(2020年度確定)＞の②) ※四国班の案を採用
					東北	○	両手で子鉢を模り、体右から中央へ+「副」		
					関東	●	「副、付く」+両手2指の指先を向い合せて円を作る		
					北信越		食べる+休憩+小鉢(背後から提供される様子)		
					東海	●	「休憩」+「おかず」		
					近畿	◎	箸で食べる動作で、2回目に顔を違う方向へ向け箸を食べる		
					中国	●	味すっきり 補助のおかず		
					四国	○	/箸/の上で/しばらく(休憩)/		
					九州	●	お汁を飲む+休憩		
4	4	湯通し	材料を湯に入れ、表面だけに軽く火を通し、すぐに取り出すこと。「熱湯にさっとくぐらせる」と同じ意味です。色鮮やかに仕上げる、くさみを抜くなど、材料やそのあとの調理法により様々な目的があります。材料によっては熱湯をさっとかけるだけの場合もあります。(cookpad https://cookpad.com/cooking_basics/7604) 料理の下ごしらえとして、材料を熱湯にさっと通すこと。臭みや油気を抜く。(広辞苑第6版DVD-ROM版)	＜茹でる＞との違いを念頭に検討してください。	北海道	●	〈煮る(茹でる)〉+あつという間	保 保存手話	事務局案 東北班の案 →書面(メール)本委員会の結果、鍋に入れたざるを元の位置に戻すのではなく、上げるだけでいい。 ⇒掌を上に向け5指を曲げた左手を上下に動かし(お湯が沸いてい様子)+残した左手にザルの取っ手を握った右手を入れるようにし上に上げる ※東北班の案を参考
					東北	◎	右手で炎、左手は鍋+右手で鍋に入れて出すしぐさ		
					関東	◎	5指を開いた両手の指先を重ね、ボウルの		
					北信越		A 湯にくぐらせる様子 B やかんの湯をかける様子		
					東海	●	1. さっと湯がく 2. お湯をかける		
					近畿	ア	「ユ」の形の片手で、もう一方の片手で器を作り、「ユ」ですくいあげるような動作		
					中国	●	湯+通し		
					四国	ア	左手でざるの形+右手/ゆ/を通す		
					九州	●	湯を沸かす+通す+鍋をあげる		
5	5	板ずり	きゅうり・オクラ・ふきなどに対し、塩をまぶしてすり込み、まな板上でゴロゴロ転がす下ごしらえ。塩は洗い流してから調理する。緑色が鮮やかになる、表面がなめらかになる、調味料がしみ込みやすくなる、アクが抜けるなどの効果がある。(Cookpadより)		北海道	●	〈塩〉+野菜を転がす様子 両手を下に向け前後に動かす	● 組み合わせ	事務局案 9班の案にあるように＜塩＞+野菜を転がすしぐさ →書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。 ⇒＜塩＞+板ずりをする動作 ※東北、四国班の案を採用
					東北	○	「塩」+両掌を下に向け前後にこまく数回動かす		
					関東	◎	親指側をついて水平に置いた両手を左右に離す+水平に置いた両手を前後に小さく動かす		
					北信越		塩(ふりかける様子)+ゴンゴン(板ずりの様子)		
					東海	●	塩をこする仕草		
					近畿	◎	胡瓜などに「塩」でふって、押しながら転がす動作		
					中国	●	塩+すり		
					四国	●	/塩/+両手で転がすようなしぐさ		
					九州	●	塩+非利き手の掌を下に向けまな板を表現+前後にすり込む様子		

6	7	暴風雪	雪を伴った強い風で視界が真っ白になり、暴風雪警報が出るレベルになる。(要約)	参考: ＜ホワイトアウト(2016-43)＞	北海道	保	〈雪〉+ 雪を強く表わす	△ ラベル追加	事務局案 9班の案を参考に＜吹雪(2019-36)＞を交互に激しく表す。 →書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。 ⇒＜吹雪＞と同じ(表情付で) ※北信越、東海、近畿、中国、四国、九州班の案を採用
					東北	○	「雪嵐」+ 右掌を左から右に		
					関東	●	左上腕に5指を折り曲げた右手甲を付け反転する。両手とも2指で輪を作り、右上から左下へ2回転かす。		
					北信越		斜めに雪が吹き荒れる様子(表情がポイントです)		
					東海	ア	暴風雨の雨を「雪」にする		
					近畿	○	「雪」+「風」		
					中国	○	雪強く降る		
					四国	ア	/雪/ を横殴りに吹雪いている様子を示す		
九州	○	両手で雪 + 強い風							
7	8	積雪量	【積雪】とは、地面に積もった雪のこと。気象用語としては、雪または霰が地面の半分以上を覆った状態をいう。(ウィキペディア) 【積雪量】…「自然に降り積もって地面などに堆積している雪やあられなどの深さ」という意味の言葉です。単に「積雪」とも言われます。例えば、「午後5時の時点での積雪量は○○cmです」のように使われます。気象庁の地上気象観測法では、観測所の周囲の地面の1/2以上が雪で覆われた状態を、「積雪」と呼ぶようになっています。 【参考】 「降雪量」…「一定期間内に降った雪の量」という意味の言葉です。単に「降雪」とも言われます。例えば、「午後1時から3時までの降雪量は○○cm」という具合に使われます。(社会人の教科書より)	「降雪量」とあわせて検討してください。	北海道	保	〈雪〉+ 左掌を上に向け右掌を下に向け右手を上上げる(積もる)	● 組み合わせ	事務局案 ＜雪〉+「コ」形の両手を上下に重ね(右手を上)右手4指を上下させる →書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。 ⇒＜雪〉+「コ」形の両手を上下に重ね(右手を上)右手4指を上下させる ※東北班の案を採用
					東北	○	「雪」+ 両手で「増える」		
					関東	●	広げた左手親指と4指の上で右手で雪を降らせる。左手の上に左手と同形の右手を置き、次に左右の親指の先を付けて右手4指を上を開く+「いくつ」		
					北信越		積雪 + 量		
					東海	●	「雪」+「積む」+「量」		
					近畿	●	「雪」+「量」		
					中国	●	雪 + 溜まる		
					四国	ア	積雪:/雪/ + 重なる様子 量/上下に幅を表		
九州	●	雪 + 非利き手で古い雪、利き手で新しい雪が積もるを表現							
8	9	爆弾低気圧	冬から春にかけては春一番をもたらす、各地で暴風や激しい雨など大荒れの天気となり、低気圧からのびる寒冷前線の後面には強い寒気があるため、ゴールデンウィークの頃でも標高の高い場所では雪になるなど、大きな被害をもたらす気象現象です。 (気象病に関する気象用語(監修:気象予報士/健康管理士 飯山 隆茂)) 英語を直訳したbomb cyclone「爆弾低気圧」はマスコミで広く使われている。気象庁は「爆弾」という用語が不適切であるという理由で気象用語としては使用せず、「急速に発達する低気圧」と表現している。(コトバンクほか)		北海道	●	〈低気圧〉+ 左上腕を使った(凄)い	● 組み合わせ	事務局案 ＜低気圧(新II-87)＞を勢いよく表し、＜(台風)上陸(2020-18)＞ →書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。 ⇒＜低気圧＞を勢いよく表し、＜(台風)上陸＞ ※東北班・関東班・四国の「低気圧」を勢いよく下げる表現を参考
					東北	ア	「低気圧」+ その右手を急に強く下す		
					関東	ア	「気圧」の手形で、右手を勢いよく下げる。		
					北信越		パワー + 低気圧		
					東海	●	「緊急」+「低気圧」		
					近畿	●	「低気圧」+「とても」		
					中国	●	低い + ひどい		
					四国	●	破裂するような様 + /低気圧/		
九州	●	非利き手の掌 + 利き手コを下げる(早く) + 強							
9	12	フェーズ	「局面」で、事のなりゆきや当面している情勢(広辞苑第6版 DVD-ROM フェーズ→局面) 世界保健機関(WHO)が定める、新型インフルエンザなどの感染症におけるパンデミックの状況もフェーズによって示されています。 ・フェーズ1~3:大部分の感染が動物、わずかにヒトへの感染 ・フェーズ4:ヒト→ヒトへの感染 ・フェーズ5~6:ヒトへの感染が広範囲に広がる 今回の新型コロナウイルス(COVID-19)は、3月11日にフェーズ6であるパンデミック(世界的大流行)と認定されています。(就活豆知識より)	＜レベル＞＜段階(わ10-157)＞＜状態・風潮・局面・事態・加減(わ7-145)＞などを参考に検討してください。	北海道	ア	指文字「フ」の親指から右手を右へ動かす ＜(レベル)の指文字「レ」を「フ」に変更＞	ア アレンジ	事務局案 9班の案を見ると、＜F＞や＜段階＞の表現が見られるが、東海班の表現が合うのではないかと。→書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。 ⇒左手指文字＜フ＞の横から掌下向きの右手を右に水平に動かす ※北海道班・東海班の案を採用
					東北	◎	左手「F」+ 右手で段々を上がる		
					関東	◎	掌を前に向け立てた左手に、水平にした右手親指側を付けて上下させる。		
					北信越		指文字「ふ」+ 段階		
					東海	ア	「レベル」を流用し、指文字「フ」で表す		
					近畿	○	片手を立てて、「F」指文字で横に引く		
					中国	●	ふ指文字 + 様子		
					四国	○	/状態/ + /段階/		
九州	●	F + レベル(手話辞典記載あり)							
10	13	海溝(かいこう)型地震	海の中にある岩盤「海のプレート」と大陸から海の中まで続いている岩盤「大陸のプレート」の2種がお互いに作用して発生する地震。東日本大震災は「海溝型地震」、阪神淡路大震災は「活断層型地震」にあたる。海溝型のメカニズムは、海のプレートが大陸のプレートの下に沈みこむと、大陸のプレートが引きずりこまれて行くうちに跳ね上がって発生する地震。(小職オリジナル)	＜アウターライズ地震(2019-38)＞＜直下(型)地震(2020-27)＞などを参考に検討してください。	北海道	◎	〈海溝〉(左右の掌をVに降ろす) + 〈地震〉	● アレンジとの組み合わせ	事務局案 9班の案を見ると、東海・近畿班の表現がイメージに合う。 ＜アウターライズ地震＞の表現を工夫できないかと。→書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。 ⇒＜アウターライズ地震(2019-38)＞の①の左手指先を曲げていき、そのまま左手指先を跳ね上げ(もぐりこんだプレートが跳ね上がるイメージ)+＜地震＞ ※東海、近畿班の案を採用
					東北	◎	両手で「谷」をずらし、右手先が跳ね上がる		
					関東	●	左手は指先下向きに曲げる。右手で「海」を表し、指先下向きに曲げて左手指先の下に潜り込ませてから跳ね上げる + 「地震」		
					北信越		(両腕でプレートを表現)もぐりこんだプレートが跳ね上がる様子		
					東海	●	右手を左手の上に置き、右手を弾く + 地震		
					近畿	●	「海溝」+「地震」		
					中国	ア	海 +		
					四国	●	/海/ + /プレート/ + /跳ね上げる/ + /地震/		
九州	●	利き手で大陸プレートを表現 + 非利き手で海洋プレートが入っていく様子を表現 + 利き手の指先を跳ね上げる							

11	19	連動型巨大地震	将来発生が予想されている「南海トラフ地震」は連動型巨大地震であり、①東海地震、②東南海地震、③南海地震の3種が短期間のうちに連鎖的に発生する現象。過去には、1707年の宝永地震が考えられている。(防災関連用語集から要約)	<続く・続投・永続・恒久・連動(わ3-208)><巨大地震・大規模地震(2020-28)>などを参考に検討してください。	北海道	ア	<地震>左手はそのまま右手は地震の動きで右へ移動	<連動型巨大地震> ● 組み合わせ	「連動」をどう表すか確認。2019年10月に<続く>と同表現として確定しているが、今回の場合は横に連なっていくイメージの方が合うのでは？また、「巨大」について、9班の案にある「パワー」の表現もいい。 事務局案 <続く>を左から右に動かし+<パワー>(5指)+<地震> →書面(メール)本委員会の結果、今ある手話を使うことに。 ⇒<連動B>+<巨大地震(2020-28)> ※東北班の案を参考
					東北	○	「続く」を左から右に大きく回し+「地震」		
					関東	◎	「地震」を表し左手そのまま。右手「ろ」の手形を右に動かし「地震」。さらに離れた場所に右手を動かして「地震」(地震が移動していく様子)		
					北信越		連続 + パワー + 地震		
					東海	●	「続く」+「大きい」+「地震」		
					近畿	ア	「地震」+「連続」「連続」「連続」		
					中国	●	場所 + 次 + 次 + 地震		
					四国	◎ア	二指で作った輪を繋ぎ 左に動かす(連動) + 両手で/大変/左右に引き離し + /地震/		
					九州	○	関係(北から南方向へ動かし連動する様子を表現)+大きい+地震		
12	14	地すべり	地すべりは、わりあいゆるいかたむきの斜面(しゃめん)が、広い範囲(はんい)にわたって、すべり落ちていく現象(げんしょう)です。家や田畑や生えている木などもいっしょに、地面が大きなかたまりのまま動きます。地すべりが動く速さは、ふつうは1日に数ミリで目に見えないほどですが、一気に数メートルも動くこともあります。また、1つの場所で何十年にもわたって少しずつ続く地すべりもあれば、地震(じしん)などがきっかけで、とつぜん起きる地すべりもあります。(特定非営利活動法人土砂災害防止広報センターHPより)	<土石流(新III-75)><土砂崩れ(2020-25)>などを参考に検討してください。	北海道	◎	左手を「山」形に作り「自動車の形」の右手を斜面に沿って降ろす	保 保存手話	「地すべり」とは、わりあいゆるいかたむきの斜面が、広い範囲にわたって、すべり落ちていく現象。 事務局案 斜めに伸ばした左手に沿って指を広げた右手を下ろす →書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。 ⇒斜めに伸ばした左腕に沿って指を広げた右手を下ろす ※東北班の案を採用
					東北	ア	(土砂崩れを参考に)左腕の上→下に右掌で流れる様子		
					関東	◎	左手を甲上側で指先を下向きにして伸ばす。指先を左手首に付けて軽く曲げた右手を、指先に向かって滑らせながら開く。		
					北信越		左手は斜面を表現。右手は手のひらを上にして指は少し立て、地面が木もろとも滑り落ちる様子を表現。		
					東海	●	右手を左手の上に置き、右手を斜め下に下ろす		
					近畿	◎	山から大きく滑る様子		
					中国	保	鳥取の手話 山滑り		
					四国	ア	左腕に右腕を重ね、それを下にずらしていく		
					九州	●	非利き手で山+利き手を軽くすぼめ、山の斜面から滑り落ちる様子を表現		
13	15	常時微動	地盤の揺れの程度で、常に動いている地面のわずかな揺れのこと。風や波などといった「自然活動」や工場や交通などといった「人間活動」に影響される。(小職)		北海道	ア	<地震>細かく動かし右から左へ移動する	ア アレンジ	事務局案 北海道班の案を参考に、<地震>を小刻みに上下に動かしながら左から右に動かす →書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。 ⇒<地震>を小刻みに上下に動かしながら左から右に動かす ※北海道班の案を採用
					東北	●	「いつも」+「地震」(小さく)		
					関東	●	「少し」+ 動きの小さな「地震」		
					北信越		いつもいつも + 人差し指で振動のグラフを表現		
					東海	●	「常に」+ 小刻みに両手を揺らす		
					近畿	●	「普通」+「震動」		
					中国	●	常時+少し+ 地震		
					四国	ア	かすかな揺れを表現し、表情は気が付いていない様子で		
					九州	●	自然 + 揺れる		
14	16	ボーリング調査	ボーリング調査は地面に円筒形状の孔をあけて、一般的に深さ1mごとに標準貫入試験(N値という強度の計測)を実施して土のサンプルを採取します。これによって、掘っている部分の土質や強度が判断できるというわけです。ボーリング調査(boring)は「掘る」「bore」が語源で、ゲムのボウリング(bowling)は「泡」や「こぶ」を意味する「bowl」が語源のため意味が異なります。		北海道	保	丸めた左掌を右人差し指を下方に回しながら下げる	● 組み合わせ	事務局案 東海班の案を参考に、<ボーリング(続①-70)>(掌を下に向けた左手の横で右手人差し指を小さく回しながら下げていく+<調べる・検査・調査> →書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。 ⇒<ボーリング>+<調べる・検査・調査> ※東北、関東、東海、近畿、九州班の案を採用
					東北	○	左手地面を右手人差し指を回しながら下へ「調べる」		
					関東	◎	水平に置いた左手の内側で、指先を下に向けた右手人差し指を回しながら下げる +「調査」		
					北信越		地下(人差し指をグルグル下におろす)+ 調査		
					東海	●	「ボーリング」に同じ		
					近畿	◎	右手でドリルの形を作り、地下へ掘る様子(「調査」)		
					中国	●	土 + 回す + 調査		
					四国	ア	下に掘り進める様子 + /調べる/		
					九州	●	非利き手の掌を下+利き手人差し指を下に向け、下方向に回す		
15	17	帰宅困難者	災害発生時に会社や学校、外出先などにおいて、交通機関の停止などの影響を受けて自宅に帰るのが難しくなった人達。(防災「アンカーシェルター」HP) 内閣府中央防災会議は、帰宅距離が10キロメートル以上になると帰宅困難者が生じ、20キロメートル以上では全員が帰宅困難者になると想定し、首都直下地震が発生した際には、東京都周辺で約650万人が帰宅困難者になると推計している。(コトバンクより抜粋)		北海道	●	(左手を家+右手は帰る)+<難しい>	<帰宅> ○合成 <帰宅困難者> ● 組み合わせ	まずは、「帰宅」の手話表現をどうするか検討。<家>+<帰る>と2動作にするか、北海道班案のように1表現とするか？ <帰宅> ⇒左手<家>に向けて右手<帰る>(「家」<帰る>の合成) 「困難」について、9班の案を見るといろいろある。どの表現が合うか検討。<大変>はよく使う。<支障>もよく使うが「邪魔」の意味もあるので紛らわしい。多数決で<不可能>の表現が採用することに。 また、<～者?～人>の表現があるが、この場合は大勢の人々をさすので<人々>とすることに。 <帰宅困難者> ⇒<帰宅>+<不可能>+<人々> ※近畿、中国班の案を採用
					東北	ア	「家」+「帰る」+ 顔で難しい		
					関東	●	「帰る」+「行き止り」+「人々」		
					北信越		帰る + 困難(おでこにコンコン) + 者		
					東海	●	「帰宅」+「困難」+「者」		
					近畿	●	「帰る」+「出来ない」+「人々」		
					中国	●	家 + 帰る + できない + 者		
					四国	●	/家/ 帰る/ 難しい/ 人々		
					九州	●	帰る + 不可能(手話辞典記載あり) + 人々		

16	20	火災旋風	<p>「竜巻」は、積乱雲や積雲に伴って発生するものを指す気象用語。 「旋風」は、地表近くの不安定な空気が上昇することによって発生するものであり、竜巻と違って雲のない状況下でも発生します。つむじ風とも呼ばれる渦巻状の風(公園の枯葉が渦巻いていたり、校庭で砂埃が舞うなど) 「火災旋風」は、炎が竜巻のように渦を巻く現象。 発生場面は、地震などの自然災害や空襲などの人災による都市部での広範囲の火災や、山火事など。発生メカニズムや発生条件は未解明。(ウィキペディアから要約)</p>	<p>＜つむじ風・旋風(2016-42)＞などを参考に検討してください。</p>	北海道	ア	〈災害〉右手を炎が上がるように上に上げる	● 組み合わせ	<p>標準手話の＜火災＞は家が燃える様子の表現。火災旋風が起きるほどの火災だと家に限らない。 事務局案 ＜燃える・炎上(2014-25)＞(両手)＋＜つむじ風・旋風(2016-42)＞の2動作目 →書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。 ⇒＜燃える・炎上＞＋＜つむじ風・旋風＞の2動作目 ※東海班の案を参考</p>
					東北	●	「赤」＋「炎」と「つむじ風」を連動		
					関東	◎	指先上で5指を軽く丸めた両手を向い合せ指先をひらひら動かす(炎の様子)。左手は残しその上で右手を円を描きながらつまみ上げる。		
					北信越		火＋人差し指を立てグルグル回しながら上に移動		
					東海	●	「火」＋「竜巻」		
					近畿	ア	「火事」から煙が舞い上がる様子に変換		
					中国	○	火＋旋風		
					四国	○	/火/＋/風が巻き起こる様子		
					九州	○	非利き手の掌を下向け、利き手で左から右へ炎を表現＋利き手人差し指を回しながら上へ		
17	22	津波避難ビル	<p>津波から命を守るための緊急避難場所のうち、自然地形の高台に避難するのが困難な場合に、一時的に避難を行う建物(高知市HP)</p>		北海道	●	〈津波〉＋〈避難〉＋〈ビル〉	● 組み合わせ	<p>9班の案を見るとほとんど同じ表現だが、微妙に異なる部分がある。標準手話があるのでその組み合わせで対応。 事務局案 ＜津波(2012-54)＞＋＜回避・避ける〉(租税回避(2018-60)の2動作目)＋〈ビル〉 →書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。 ⇒＜津波＞＋＜回避・避ける〉(租税回避(2018-60)の2動作目)＋〈ビル〉 ※北海道班・北信越班・九州班の案を採用</p>
					東北	○	「避難」＋右手「コ」を高い位置に		
					関東	●	「津波」＋「逃げる」＋小指下、指先前で立てた左手の掌側で指先を下に向けて右手2指を回しながら上方に動かす＋「ビル」		
					北信越		津波＋避難＋ビル		
					東海	●	「津波」＋「避難」＋「ビル」		
					近畿	ア	「津波」＋「逃げる」＋ビルを駆け上がる様子		
					中国	●	津波＋避難＋ビル		
					四国	●	/津波/＋/避難/＋/ビル/		
					九州	○	津波＋避難＋ビル(手話辞典記載あり)		
18	24	防災ずきん	<p>地震などの災害の際、頭部を守るためにかぶる頭巾。防空頭巾と同類。(goo国語辞書より)</p>		北海道	●	〈防〉＋〈災〉＋頭巾を被る仕草	<p>＜防災B＞ ○合成 ＜防災ずきん＞ ● 組み合わせ</p>	<p>まずは「防災」の表現を確認。9班の案を見ると＜防災(新Ⅲ-148)＞を使っているが、ずきんの表現を加えると3動作になる。一発で表せないか？ ＜防災B＞ ⇒左手＜防ぐ＞と右手＜災＞の1画目を同時に表す 「ずきん」は形の特徴の案を出した班がみられるが、防空ずきんに見え、若者に分かりづらいのでは？ 今後、ほかに流用できる表現がよい。 多数決の結果、フードをかぶるしぎさを採用することに。 ＜防災ずきん＞ ⇒＜防災B＞＋両手でフードをかぶるしぎさ ※中国班の案を参考</p>
					東北	●	「防災」＋指先を合わせた両掌を頭上から下方		
					関東	●	掌外側で立てた右手の掌に、小指下側で立てた右手指先を当てて右手で押し返す(防ぐ)。4指と親指を向い合せた両手を頭上から方に下す(ずきんの形)		
					北信越		災害＋分厚い頭巾を頭にのせる(ヘルメットとの違いを表す)		
					東海	●	「防災」＋両手を頭から斜め下に下ろす		
					近畿	ア	「避難」＋頭巾をかぶる様子		
					中国	●	防止＋かぶる		
					四国	ア	/防災/＋頭を覆う仕草(△の形で)		
					九州	○	災害＋両手をグーの形でかぶる仕草		
19	25	非常用持ち出し袋	<p>防災セット・防災リュック・非常袋などとも呼ばれる。災害が起こって避難するときに持ち出すバッグ。自分が必要とする最小限の品を収めた袋。(意外と知らない災害用語辞典より)</p>		北海道	●	〈逃げる〉＋〈リュック〉	● 組み合わせ	<p>「非常用」は9班で複数案ある。どうするか。 事務局案 ＜非・非常(2009-10)＞＋リュックサックを背負う動作(＜バックパッカー(2019-28)＞の1動作目) →書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。 ⇒＜非・非常＞＋リュックサックを背負う動作(＜バックパッカー(2019-28)＞の1動作目) ※中国班の案を採用</p>
					東北	○	「避難」＋左掌を下に右手拳を上にも右に移動		
					関東	●	「逃げる」＋右手拳を左掌の上方に置き、左右同時に前方へ動かす(荷物を持つ様子)		
					北信越		非＋カバン(もしくはリュック)		
					東海	●	「非常」＋「持つ」＋「袋」		
					近畿	●	「避難」＋「リュックサック」		
					中国	●	非常用＋リュック		
					四国	ア	/非/＋抱え持つ＋前方に出す(そのものを強調するイメージ)		
					九州	○	災害＋リュック		
20	49	エッセンシャルワーカー	<p>英語の「essential(必要不可欠な)」と「worker(労働者)」組み合わせた言葉。日本語に直訳すると「必要不可欠な労働者」となり、生活維持のために欠かすことのできない仕事に従事している人々を意味します。(医療・福祉、農業、運送・物流、小売・販売、インフラなど) 「新型コロナウイルス感染症」の影響により世界各国でロックダウンや外出自粛規制が行われるなか、これらの人々は危険と隣合わせの状況で働き続けている。このような生活の基盤を支える人々へ感謝と尊敬を込めて、エッセンシャルワーカーという言葉が使われるようになった。(センチュリー21HPより)</p>		北海道	●	〈仕事〉＋〈必要〉＋〈人々〉	● 組み合わせ	<p>「エッセンシャルワーカー」とは、今回のコロナ禍でいうと医療従事者(ワクチン接種関係も含め)など、本当に必要不可欠な仕事に従事している人のこと。 9班の案を見ると 「ソーシャルワーカー」に合わせた＜E＞＋＜W＞と、意味に合わせた表現に分かれている。 また、本委員からは＜暮らし・生活＞＜必要＞＜職業・仕事＞と＜暮らし・生活＞を入れた方がよいとの案が出ている。意味に合わせた表現が必要。 「ワーカー」とは労働者の意味。「労働者」は標準手話のラベル無なし。まずは「労働者」の表現を確認。＜労働＞の標準手話はあるが、この場合には合わないので＜職業(仕事)＞を採用することに。 ＜労働者＞ ⇒＜職業(仕事)＞＋＜人々＞ 「エッセンシャル」の表現について＜生活＞＜必要＞または＜生活＞＜関する＞などの案も出たが、最終的に採用されたのは以下の表現。 ⇒＜暮らし・生活＞＋＜大切B＞(類)＋＜労働者＞ ※近畿班の案を参考</p>
					東北	●	＜ソーシャルワーカー＞参考に左手「E」右手「W」		
					関東	●	親指を立てた左手小指側に右手掌を当て手前に押し上げる(「助かる」)＋「仕事」＋「人々」		
					北信越		「e」＋「w」(シャルワーカーはSWと表すことを参考にしました)		
					東海	●	指文字「e」＋指文字「W」		
					近畿	●	「大切」＋「仕事」＋「人々」		
					中国	●	必要＋働き者		
					四国	●	アルファベット E W		
					九州	●	必要＋仕事＋人々		

21	50	備蓄	<p>将来や万一の場合にそなえてたくわえておくこと。また、そのたくわえ。 (例:「食糧を備蓄する」「石油を備蓄する」など) (goo国語辞書より)</p> <p>台風・豪雨・地震や、新型コロナウイルスの流行で、長期の避難や自宅にこもる思いもよらない 非常事態に備え、何が必要? 量は? 保管場所は? ...家庭内備蓄の必要性についていわれるようになってきた。</p>	<p>関係する単語を参考にご検討ください。</p>	北海道	保	〈念の為〉右手親指を立て右胸に2回あてて揃	● 組み合わせ	<p>9班の案を見ると「準備」でも複数の動作がある。本委員の案が合うのではない。 事務局案 〈準備(わ4-191)〉+〈保存(わ6-105)〉の1動作目 →書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。 ⇒〈準備〉(両手掌を向かい合わせたまま、左から右へ移す)+〈保存〉の1動作目 ※東北、北信越、九州班の案を採用</p>
					東北	●	「準備」+「蓄える」		
					関東	◎	右側で「保存」を表して左手で右手を軽く押す		
					北信越		準備 + 保管		
					東海	●	「仕舞う」+「貯める」		
					近畿	◎	いろいろ積んでいく様子		
					中国	●	予備 + 保管		
					四国	●	/念のため(2018-73)/ + /保存/		
					九州	●	準備 + 保存		
					22	51	エリアメール		
東北	●	「地域」+「メール(両手で左右に広げる)」							
関東	●	右手3指で「く」形を描き、両手「め」を左右斜め前方に出す。							
北信越		「e」を回す + メール							
東海	●	「エリア」+「メール」							
近畿	●	「地域」+ 発信							
中国	●	エイア + メール受信							
四国	●	/地域/ + /メールが届く/							
九州	●	地域 + 緊急 + メール(両手で一斉に送信される様子を表現)							
23	52	DMAT(災害派遣医療チーム)	<p>「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されており、災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team の頭文字をとって略して「DMAT(ディーマット)」と呼ばれている。「阪神淡路大震災」と機に結成された。(厚生労働省DMAT事務局HPより) 厚生労働省医政局が所管しており、活動は、「災害対策基本法」において、中央防災会議による作成・公表が定められている、「防災基本計画」によって決められています。 1チームあたりの人数は、医師1人、看護師2人、業務調整員1人の合計4人が基本です。災害時に48時間以内に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。</p>					北海道	●
					東北	◎	右手「d」で左手首を2回たたく+「チーム」		
					関東	●	左手「d」形の手前に沿って、右手「m」形を左から右へ動かす。		
					北信越		災 + 医 + チーム		
					東海	●	「D」+「チーム」		
					近畿	●	「災害」+「医療」		
					中国	●	D指文字 + チーム		
					四国	○	/D/ + /チーム 2007-94/		
					九州	ア	災害 + D + チーム		
					24	53	防災士	<p>”自助”“共助”“協働”を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを日本防災士機構が認証した人です。2021年3月末日時点で、207,621名の防災士が認証(累計)されている。 (認定特定非営利活動法人日本防災士機構HPより)</p> <p>※標準手話確定普及研究部研究員の中にも「防災士」の方が複数名おられます。</p>	<p>〈防災(新III-148)〉+〈士〉で大丈夫ですか。ご検討ください。</p>
東北	●	「防災」+「士」							
関東	◎	掌を前に向けて立てた左手の右で、右手3指で「く」形を描く + 左手そのままで左胸に右手「し」形を当てる。							
北信越		防 + 災 + 士							
東海	●	「防災」+「士」							
近畿	●	「防災」+「士」							
中国	○	問題なし							
四国	○	/防災/ + /士/							
九州	●	防ぐ + 災害 + 士							
25	37	補助犬	<p>「盲導犬」「介助犬」「聴導犬」の3種類の犬たちの総称。 補助犬使用者がハーネスや表示をつけた補助犬を同伴している時、補助犬は「仕事」中。 「身体障害者補助犬法」に基づき訓練・認定されている。ユーザーは衛生・行動管理に責任をもって社会参加しています。 受け入れる施設側には法律に基づき、補助犬の同伴を受け入れる義務がある。</p>	<p>「補助」は「補佐」「副」といった意味もあると思います。</p>					
					東北	●	「助ける」+「犬」		
					関東	●	「手を引く(介助等)」+「犬」		
					北信越		助ける + 犬		
					東海	●	「補助」+「犬」		
					近畿	●	「補助」+「犬」		
					中国	●	補助 + 券		
					四国	●	/助ける/ + /犬/		
					九州	●	障害 + 支える + 犬		
					26	38	聴導犬	<p>耳の聞こえない人や耳の聞こえにくい人たちに必要な情報(お湯が沸いた、玄関に客が来た、道路歩行中の危険、メール着信等々)を伝えてくれる補助犬のこと。 「聴導犬」と書かれたオレンジ色のケープを着用している。 (日本聴導犬推進協会HPより)</p>	<p>使用者が周りにはいたらどういいう手話を使っているか調べてください。</p>
東北	●	「聞く」+「犬」							
関東	●	「ろう・聞こえない」+「手を引く」+「犬」							
北信越		ろう + 助ける + 犬							
東海	●	「情報」+「導く」+「犬」							
近畿	●	「聞く」+「導く」+「犬」							
中国	●	聞く + 助け + 犬							
四国	●	/音/ + /助ける/ + /犬/							
九州	●	聾(片手で表現) + 導く + 犬							

27	39	介助犬	手や足に障がいのある方の手助け(落ちた物を拾う、指示した物を持って来る、緊急連絡手段の確保、ドアの開閉、衣服の脱衣補助、車いすの牽引、起立・歩行介助、スイッチ操作の8動作)をするために特別な訓練を積んだ犬のこと。 (社福)日本介助犬協会HPより)		北海道	●	〈介護〉+〈犬(片手)〉	● 組み合わせ	事務局案 〈介護(新Ⅱ-51)〉+〈犬(わ3-84)〉 →書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。 ⇒〈介護〉+〈犬〉 ※東北、関東班の案を採用
					東北	●	「介護」+「犬」		
					関東	●	「介護」+「犬」		
					北信越		介 + 助ける + 犬		
					東海	●	「介」+「助ける」+「犬」		
					近畿	●	「介」+「助ける」+「犬」		
					中国	●	介護 + 助け + 犬		
					四国	●	/介護/ + /助ける/ + /犬/		
					九州	●	介護 + 支える + 犬		
28	40	セラピードック	触れ合いや交流を通じて病気やケガまたは精神的な痛みを受けた人の不安を減らし、気力を高め心と体を癒す働きをする高度な訓練を受けた犬たちのこと。(補助犬ではなく、法律による定めはない)	参考:〈セラピー・治療(2013-78)〉	北海道	●	〈セラピー〉+〈犬(片手)〉	● 組み合わせ	事務局案 〈治療・セラピー(2013-78)〉+〈犬(わ3-84)〉 →書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。 ⇒〈治療・セラピー〉+〈犬〉 ※北信越、東海、近畿、四国班の案を採用
					東北	●	「安らぐ」+「犬」		
					関東	●	「体」(体と気持ち両方を込めて)+「犬」		
					北信越		A セラピー+犬 B 心和む(掌で胸を撫でる)+犬		
					東海	●	「セラピー」+「犬」		
					近畿	●	「セラピー」+「犬」		
					中国	●	心 + 助け + 犬		
					四国	●	/セラピー/ + /犬/		
					九州	●	心 + 支える + 犬		
29	23	ひっ迫	①行き詰まって余裕のなくなること。事態が差し迫ること。(例:「情勢が逼迫する」「財政が逼迫する」など) ②苦痛や危難が身に迫ること。(goo国語辞書より) 「新型コロナウイルス感染症」関連では、主に医療体制について言われている。		北海道	△	〈迫る〉右掌を上に向け目に近づけながら閉じる	ア アレンジ	9班の案を見ると、〈焦眉(2012-27)〉(右手掌を揺らしながら近づける)表現が多い。「病床ひっ迫」「医療崩壊のひっ迫」に合うかどうか検討。関東あたりで〈焦眉〉+汗を流すしぐさを見るがどうか? 2動作になるのでやりづらい。1発の表現がいい。〈焦眉〉と同じにするか、顔前の左手掌に向けて〈焦眉〉とするか、多数決の結果左手掌をつける方を採用することに。 ⇒顔前に置いた左手掌に向けて〈焦眉〉(上体を少しそらす) ※東海、近畿、九州班の案を採用
					東北	●	「迫る」+「ととも」		
					関東	◎	立てた右掌を目に近づけ、右手でこめかみから「汗」		
					北信越		迫る + 慌てる(ポイントは表情)		
					東海	△	「迫る」		
					近畿	◎	体の前に両手で向かい合わせ、身を引く様子		
					中国	●	心配 + 迫る		
					四国	ア	顔の前に迫りくる様子 上体は後ろへ		
					九州	○	迫る(手話辞典記載あり)		
30	18	後方支援	本来は軍事用語だが、医療場面でも使用されている。軍事の場面では燃料や物資の補給、人員の輸送、けが人の治療などで「前線」を支援すること。 医療場面では、医療福祉相談業務といった退院へ向けた支援、療養中の心理的・社会的問題の解決・調整支援などがある。 (日経新聞HP、相生病院HPから構成)		北海道	●	〈裏〉+〈助ける〉	ア● アレンジとの組み合わせ	本来は軍事用語だが、コロナ禍で「後方支援病院」のように使われるようになったため、それに合う表現を。 事務局案 〈内閣(わ2-20)〉の2動作目(右手掌を人差し指を立てた左手の後ろから正面後ろへつける)+〈支援(学Ⅰ-361)〉 →書面(メール)本委員会の結果、1動作目の右手は逆に動かすことに。 ⇒右手掌を人差し指を立てた左手の右後ろから正面後ろへつける+〈支援〉 ※中国、四国班の案を採用
					東北	◎	両掌を立て、右手を後ろに回し+「援助」		
					関東	◎	指先を開いた両手を右手手前で前後に並べ前へ動かす。右手を指さした後右手で左手親指を押す「支援」		
					北信越		左手人差し指を立てる + その後ろ + 支援		
					東海	●	「助ける」を手前に表す		
					近畿	ア	「助ける」の形だが、両手をくっつけなくて、後方に離す		
					中国	●	人 支援		
					四国	●	/助ける/のアレンジ 右手はやや離れた後方で支える様子		
					九州	○	寄り添う + 支援		
31	27	リバウンド(コロナに関しての)	【Rebound】 直訳:(自動)跳ね返る、反発する (名詞)①跳ね返り、反発 ②逆戻り③回復、立ち直り 〈場面毎の運用例〉 ①球技で、ボールがはねかえること。そのボール。 (例:「リバウンドボールの処理を誤る」など) ②薬剤の投与を中止したあとの、急激な病状の悪化。 ③運動や食事制限などで体重を落とした後、減量前の元の状態に体が戻ろうとする動きのこと。 コロナ関連では、緊急事態宣言による不要不急の外出自粛などによって、いったんは取りかかっていたウイルスの感染が、緊急事態宣言の解除後に再び増え始めている様子(跳ね返り・逆戻り)のことをさす。	全ての意味に共通するのは「前に戻る」でしょうか。ご検討ください。	北海道	●	再び + 広がる(コロナの場合)他にほ(再び) + 状況に応じた手話表現	保 保存手話	コロナに関して使われている表現がある 事務局案 広げた右手2指を左から右へ動かしながら近づけ再び広げる →書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。 ⇒広げた右手2指を左から右へ動かしながら近づけ再び広げる ※関東、近畿、九州班の(3)班の案を採用
					東北	◎	(グラフをイメージして)右掌を下げ、すぐ勢いよく斜めに上げる		
					関東	◎	広げた右手の指先を狭めてから勢いよく広げる		
					北信越		「コロナ」という手話で、グラフが下がって上がる様子を表現 (「コロナに関しての」と書いてあったので、あえて「コロナの手話を使用しました」)		
					東海	●	右手で上から下にグラフを描く		
					近畿	◎	片手の親指と人差し指で段々減って、元を増えていく		
					中国	●	また + もどる		
					四国	ア	上下にした拳の片方を前に2回だしもとの位置		
					九州	○	①両手の親指と人差し指で表現 ②利き手を下げる上げる(線グラフを表現) ③利き手の親指と人差し指をすばませて広げる		

32	48	Bluetooth	近距離にあるデジタル機器同士が通信するための無線通信技術です。 例えば、パソコンで利用するマウスやキーボードの中で、コード類をつなぐに使用しているものの多くはBluetoothでつながっています。 Bluetooth・・・青い歯。ロゴは、ルーン文字で「ハーラル・プロタン(デンマーク王で「青歯王」との異名を持つ。)の頭文字のH(*)とB(B)を組み合わせたものに由来する。ハーラル1世はデンマークとノルウェーを平和的に統一したことでも知られる人物。当時乱立していた無線通信規格をまとめ、新しい無線規格で複数機器(パソコンと携帯電話)をつなぎたいという思いから、スウェーデンの技術者がつけたものである。	参考:<無線(新II-125)>	北海道	ア	の形で円を描く	◎ 創作手話	関東班の案が「Bluetooth」のマークの表現に合うのではないか。 事務局案 掌右向きの左手人差し指に右手2指(親指・人差し指)を上下に位置を変えて2回あてる →書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。 ⇒ 掌右向きの左手人差し指に右手2指(親指・人差し指)を上下に位置を変えて2回あてる ※ 関東班の案を採用
					東北	ア	「B」+「無線」		
					関東	◎	左手人差し指を立て、開いた右手2指の関節辺りを上下ずらして2回つける(Bluetoothのマーク)		
					北信越		左手は国際手話の指文字「B」を縦にし、右手指文字「に」をつける。(マークから)		
					東海	◎	両手を指文字「B」、両手を人差し指でつなぐ		
					近畿	◎	マークを指で表現		
					中国	●	B + 電波		
					四国	ア	Bluetoothのマークから /H/ に /B/をつける		
					九州	ア	利き手人差し指 + 非利き手「み」(人差し指は、「み」よりも前)		
33	26	サーキットブレーカー	①電気設備用語として(“元祖”)電気回路の遮断器(機) 【circuit】・・・電気回路。回路ほか電気の使用量が増えて出火する前にブレーカーが落ちて出火を抑えるしくみのこと。 ②証券用語(“派生した言葉”)サーキットブレーカー制度ともいう。株式市場などで価格が一定以上、大きく変動した場合に混乱を避けるため、自動的に取引を一時停止させる仕組みのこと。 ③コロナウイルス対応として(政策発信作戦?) コロナの感染状況が一定の水準まで悪化した場合に、営業時間の短縮要請やイベント開催の制限、移動の制限などの対策を自動的に強化し、「まん延防止等重点措置」(まん防)などを出すこと。	全ての意味に共通するのは「出過ぎたものにブレーキをかける」でしょうか。ご検討ください。	北海道	●	<超える> + <止める>	◀サーキットブレーカーA> ● 組み合わせ ◀サーキットブレーカーB> ● 組み合わせ	「サーキットブレーカー」は、電気のブレーカー、想定の水準オーバーを抑えるなどの意味。それぞれに合う表現を検討。家庭のブレーカーの場合、最近はずみみを動かすタイプだが、ブレーカーのレバーを握って下げるイメージが残っている。オーバーした状態を抑える表現をどうするか?<止めるA・ストップ><抑える>どちらにするか検討した結果、<抑える>(＜鎮圧(2016-78)＞の1動作目)を採用することに。 ◀サーキットブレーカーA> ⇒ 電気>+ブレーカーのハンドルを握って下ろすしぐさ ◀サーキットブレーカーB> ⇒ オーバー・過度>+<鎮圧(2016-78)>の1動作目(抑える) ※ 四国班の案を採用
					東北	ア	勢いよく(表情つけて)「ブレーキ」		
					関東	◎	掌を前に向けて左右に置いた両手を軽く前に押す+両手人差し指を同時に斜め前へ出す。		
					北信越		オーバー + 怪しい + (ハサミで)切る		
					東海	●	「超える」+「止める」		
					近畿	ア	「超える」+ 上のところで止める		
					中国	△	とめる		
					四国	ア	/超える/ + 両手の拳を素早く下に動かす		
					九州	○	超える + 停止		
34	28	脱炭素(社会)、カーボンニュートラル	地球温暖化の原因となるCO2などの温室効果ガスの排出を防ぐために、石油や石炭などの化石燃料から脱却すること。太陽光やバイオマスなどの再生可能エネルギーの利用を進めるなど、社会全体を低炭素化する努力を続けた結果としてもたらされる持続可能な世の中。(緑gooより) 地球温暖化は、温室効果ガス(二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロンガス等)の排出が原因となっており。その中でも大きな割合を占めるのが二酸化炭素(CO2)です。石油や石炭、天然ガスなどの化石燃料を燃やすと、大量の二酸化炭素が大気中に放出されます。そのため、再生可能エネルギー(太陽光、風力、水力、バイオマスほか)の活用を進めることで、将来的に化石燃料に頼らない社会を実現しようという考え方が近年各国で広がっています。排出を完全にゼロに抑えることは現実的に難しいため、排出せざるを得なかったぶんについては同じ量を「吸収」または「除去」することで、差し引きゼロ(ニュートラル)を目指しましょう、ということ。 【neutral】・・・「中立的なこと」「どちらにも偏らないさま」 炭素“C”(Carbon)の酸化物である二酸化炭素(CO2)排出量抑制もしくはゼロの(社会)	炭素は元素記号で「C」になります。この吸収と排出のバランスを取るというのが「脱炭素、カーボンニュートラル」の意味になります。	北海道	●	<CO2> + 下に向けた右掌を下に降ろす	◀炭素A> アレンジ ◀炭素B> ラベルの追加 ◀脱炭素(カーボンニュートラル)A> ● 組み合わせ ◀脱炭素(カーボンニュートラル)B> ● 組み合わせ	今後大切な用語なのでイメージが伝わる表現が良いか、言葉通りの表現が良いか検討が必要。まずは「炭素(カーボン)」の表現を検討。<ウラン><プルトニウム>などと同様の左手掌を元素とする表現と、元素記号「C」の両方が必要ではないか。 ◀炭素A> ⇒ 元素を表す左手掌に右手<タ>をつける ◀炭素B> ⇒ 国際手話の指文字「C」を表す(5指) 9班の案にある「減らす」というより、炭素などは自然に排出されるので完全に減らすことはできず、そのため同じ量を「吸収」または「除去」することによって差し引き「ゼロ(ニュートラル)」にすること。「減らす」というより「ゼロ」を目指す。5指を丸めて振る表現はよく使うが、標準手話のラベルは無い。 ◀OB> ⇒ 5指を丸めて数詞「0」を示す ◀脱炭素(カーボンニュートラル)A> ⇒ <炭素A>+数詞「0」を軽く左右に振る(＜カウントダウン(2014-66)＞の2動作目) ◀脱炭素(カーボンニュートラル)B> ⇒ <炭素B>+<OB> ※右手のみの動作
					東北	○	左手「C」+ 右手「消す」(掴み取る)		
					関東	◎	小指下側で左手国際手話「C」。5指をつぼめた右手をCの下から上に突き出し広げる(排出される様子) + 右手で「ゼロ」。		
					65		保留		
					東海	●	右手を指文字「た」、左手に当てて指文字「そ」+「逃げる」		
					近畿	ア	「二酸化炭素」+ 減らす		
					中国	●	炭素C指文字 + 減らす		
					四国	○	左手/C/ 右手で線を引く		
					九州	◎	非利き手でC + 利き手で減らす		
35	10	未来を担う	「担う」 ①物を肩に支え持って運ぶ。かつぐ。(例:「十字架を担う」) ②ある物事を支え、推し進める。また、自分の責任として身に引き受ける。負担する。(例:「責任の一端を担う」「地球の未来を担う」など) 未来に関する事項を自分の仕事として身に引き受ける(責任を負う)。(広辞苑第6版 DVD-ROM「担う」に小職が加筆)	<双肩に担う・背負って立つ・背負って立つ(わ4-233)>などを参考に検討してください。	北海道	△	<責任>にラベル追加	● 組み合わせ	事務局案 9班の案もほとんど同じ ◀将来(未来)(わ1-189)>を大きく表す+<双肩に担う・背負って立つ・背負って立つ(わ4-233)> →書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。 ⇒ <将来(未来)>を大きく表す+<双肩に担う・背負って立つ・背負って立つ> ※ 東北、東海、中国、九州班の案を採用
					東北	●	「未来」+ 両手で「担う」<そのまま>		
					関東	●	左手で「未来」+ 右手で「担う」		
					北信越		将来 + 担う		
					東海	●	これから 担う		
					近畿	●	「未来」+「担当」		
					中国	●	未来 + 担う		
					四国	●	右手/未来/ + 左手/肩に(担う)/		
					九州	ア	未来 + 担当(両手)		
36	11	未来を託す	「託す」 ①自分がなすべきことを他の人に頼む。まかせる。(例:「後事を友人に託す」) ②人に頼んで品物などを届けてもらう。用件を他の人にことづける。(例:「伝言を託す」など) ③気持ちや意見などを他の物にことよせて表す。(例:「思いのたけを歌に託す」など)(goo国語辞書より) 未来に関する事項を自分以外の人にあずける。(広辞苑第6版 DVD-ROM「担う」に小職が加筆)	<任す・寄託・課す(わ2-269)>または<委任(一任)・委託B・委譲(わ6-192)>などを参考に検討してください。	北海道	△	<任せる>にラベル追加	● 組み合わせ	9班の案を見ると「託す」が両手・片手に分かっている 事務局案 ◀将来(未来)(わ1-189)>を大きく表す+<双肩に担う・背負って立つ・背負って立つ(わ4-233)>を相手に向けて表す →書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。 ⇒ <将来(未来)>を大きく表す+<双肩に担う・背負って立つ・背負って立つ>を相手に向けて表す ※ 東北、東海、九州班の案を採用
					東北	●	「未来」+ 両手で「託す」<そのまま>		
					関東	●	左手で「未来」+ 右手で「任せる」		
					北信越		将来 + 任せる		
					東海	●	これから 任せる		
					近畿	●	「未来」+「任す」		
					中国	●	「未来」+「託す」		
					四国	●	右手/未来/ + 左手相手に渡す		
					九州	ア	未来 + 任せる(両手)		

37	29	X世代	1965～1980年頃に誕生した人々を、X世代と呼びます。2020年での年齢は40～54歳であり、日本の経済を支える主力メンバーです。X世代は、団塊世代ジュニアとも呼ばれ、団塊の世代が謳歌した時代のひずみや影響を、大きく受けた世代と言われています。 アメリカ合衆国において、1965年から1980年に生まれた世代。		北海道	●	(X) (両手人差し指で「X」を作る) + (世代)	● 組み合わせ	9班の案を見ると「世代」の表現が分かれているが標準手話がある。 事務局案 日本式アルファベット<X>を斜めに下ろし、<世代(新Ⅲ-88)> →書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。 ⇒日本式アルファベット<X>を斜めに下ろし+<世代> ※東海班、近畿班の案を採用
					東北	●	両手人差し指で「X」+ やや右方向に「平ら」		
					関東	◎	両手人差し指を交差させ同時に斜め下に下す(「X」)+体の右側で「みんな」。		
					北信越		「X」+「世代」		
					東海	●	X + 「世代」		
					近畿	●	「X」+「世代」		
					中国	●	X 世代		
					四国	●	/X/ + /世代(Ⅱ-218)/		
					九州	◎	利き手でX + 利き手の掌を下に向け右に平行に動かす		
38	30	Y世代	Y世代は、1981～1996年に誕生しました。2020年になると、24～39歳となります。Y世代は、ミレニアル世代またはミレニアルズ世代とも呼ばれ、2000年に20歳となった人々を含む世代です。幼少期には、アメリカ同時多発テロを経験し、イラク戦争や紛争などが頻発する中、スマートフォンやタブレット、インターネット環境の進化が見られる混沌とした時代を過ごしてきた人々となります。 アメリカ合衆国において、1981年から1996年に生まれた世代。	これは「ミレニアル世代」と同じです。	北海道	●	(Y) (指文字) + (世代)	● 組み合わせ	「X世代」と同様に。 事務局案 アルファベット<Y>を示す、<世代(新Ⅲ-88)> →書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。 ⇒アルファベット<Y>を示し+<世代> ※東海、近畿、中国、四国班の案を採用
					東北	●	左手「Y」+ やや右方向に「平ら」		
					関東	◎	指文字「Y」+ 体の右側で「みんな」。		
					北信越		「Y」+ 世代		
					東海	●	Y + 「世代」		
					近畿	●	「Y」+「世代」		
					中国	●	Y世代		
					四国	●	/Y/ + /世代/		
					九州	◎	利き手でY + 利き手の掌を下に向け右に平行に動かす		
39	31	Z世代	1997年以降に誕生した人々のことをZ世代と呼びます。2020年時点で、23歳以下の人々の事です。ポストミレニアル世代と呼ばれることもあります。Z世代が誕生した頃には、ほとんどの家庭や企業にインターネット環境が備わっていました。産まれた時から、インターネット環境に触れていたZ世代にとって、SNSでの発信や検索は一般的で、インターネットを通じた友人、知人や人脈づくりもまた他の世代と異なる認識を持っています。 アメリカ合衆国において、1997年から2009年に生まれた世代。		北海道	●	(Z) (人差し指で「Z」を書き) + (世代)	● 組み合わせ	「X世代」と同様に。 事務局案 日本式アルファベット<Z>を示し(空書)+<世代(新Ⅲ-88)> →書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。 ⇒日本式アルファベット<Z>を示し(空書)+<世代> ※東海、近畿班の案を採用
					東北	●	右手で「Z」を空書 + やや右方向に「平ら」		
					関東	◎	空書「Z」+ 体の右側で「みんな」。		
					北信越		「Z」+ 世代		
					東海	●	Z + 「世代」		
					近畿	●	「Z」+「世代」		
					中国	●	Z世代		
					四国	●	空書/ Z/ + /世代/		
					九州	◎	利き手でZ + 利き手の掌を下に向け右に平行に動かす		
40	6	知能指数 (IQ)	英::Intelligence Quotient, IQ 知能の発達程度を示すために用いる。 計算方法: 知能検査で測られた精神年齢 ÷ 生活年齢 × 100 (広辞苑第6版 DVD-ROM)		北海道	○	指文字「I」で「Q」を描く	ア● アレンジとの組み合わせ	事務局案 北海道班の案を参考に<脳> + 指文字「I」で「Q」を描く →書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。 ⇒<脳> + 国際手話の指文字<I>でQを空書する ※東北班の案を採用
					東北	●	アルファベット「I」+「Q」		
					関東	●	「賢い」+「いくつ」		
					北信越		知識 + 数		
					東海	●	こめかみに指を当て、「指数」		
					近畿	ア	「い」の形のまま、「Q」を描くように回す		
					中国	●	「I」「Q」指文字		
					四国	●	アルファベット I Q		
					九州	●	非利き手でとOを作り、O右下に非利き手人差し指で線をのばしQを表現		
41	32	eスポーツ	① 「エレクトロニック・スポーツ」の略。 ② 電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般。 ③ コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。 eスポーツのほとんどがゲームのコントローラーだけで競技を行います。ゲームの種目はルールと操作方法さえ覚えれば誰でも、すぐに遊べ、プレイヤー間でのギャップを極力少なく、お互いの操作技術や戦略によって勝敗が左右されるよう設計されており、レアアイテムの入手やレベル上げ、といった育成要素がほとんど存在しません。 eスポーツにはチーム対戦も数多く存在し、「ゲーム=ひとりやるもの」という考え方は当てはまらず、チームメンバーとの密なコミュニケーションを必要とします。彼らは日々の練習を通して、高いコミュニケーション技術を身につけており、フィジカルスポーツ同様に1つの目標に向かって複数人で突き進むチーム力やコミュニケーション力が求められます。	コンピューターゲームのスポーツというイメージでご検討ください。	北海道	●	(ゲーム) + (競争)	● 組み合わせ	「eスポーツ」は今後広まる競技。9班の案にもあるように<e><E>または<ゲーム>とするか、<スポーツ>または<競技・スポーツB>とするか検討。 <ゲーム> + <競技>だと手形も動きも似ているので紛らわしいのでは?という意見もあったが、結局採用することに。 ⇒<(テレビ)ゲーム> + <競技・スポーツB> ※北海道班の案を採用
					東北	○	左手「E」右手「スポーツ」		
					関東	●	「テレビゲーム等」+ 両手を開いて「スポーツ」。		
					北信越		「e」+ 競う		
					東海	●	指文字「e」+「スポーツ」		
					近畿	ア	ゲームをする様子 + 「スポーツ」		
					中国	●	E + スポーツ		
					四国	●	/E/ + /スポーツ/		
					九州	◎	利き手でe(国際手話表現) + スポーツ		

42	33	知らぬが仏	<p>知ればこそ腹も立つが、知らなければ仏のようなすまし顔でいられる。転じて、本人だけが知らないですましているさまをいう。(ことわざ決まり文句辞典より)</p> <p>知ると不愉快になるものごとでも、知らなければ心を乱すことはない。江戸時代に生まれた「いろはかるた」の「し」の項目が「知らぬが仏」で、そこから広まった言葉だとされています。</p>	顔の表情を含めても大丈夫です。	北海道	△	左手の甲に右手人差し指を当てる(平気な顔)	<p><知らない> ラベルの追加</p> <p><知らぬが仏> ● 組み合わせ</p>	<p>9班の案を見てわかるように「知らない」で使われているが、標準手話のラベルが無いので追加することに。 <知らない> ⇒<分からない・未知>と同じ</p> <p>また、9班の案では「知らんぷり」などが見られるが、少し意味が異なる。つまりは「知らなければ心を乱されることもなく幸せでいられる」ということ。言葉通り「仏」を使う案もあり両手で多数決をした結果、<知らない>+<仏>を採用未うことに。</p> <p><知らぬが仏> ⇒<分からない・知らない>+<幸せ> ※近畿班の案を採用</p>
					東北	◎	右手「仏」に左人差し指で「何」(顔は知らんぷり)		
					関東	◎	右手掌を顔に向け、額から真下へゆっくり下し、両手2指で「同じ」(1回)。		
					北信越		見ない + ちょうど		
					東海	●	視線をそらし、「知らない」		
					近畿	●	「知らない」+「幸せ」		
					中国	ア	知らないふりの表現		
					四国	保	/知らない/+両掌を指先前方にして上下に動く		
					九州	○	知らない + 方 + 幸せ		
43	34	初心	<p>① 最初に思い立ったときの純真な気持ち。初志。(例:「初心を貫く」「初心に戻る」など)</p> <p>② 物事の習い始めであること。また、そのさま。初学。</p> <p>③ 物事に慣れていないこと。世慣れていないこと。また、そのさま。うぶ。</p> <p>④ 仏教で、初めて悟りを求める心を発すること。また、その人。(goo国語辞書より)</p>		北海道	●	<初め>+<心>	<p><初心> アレンジ</p> <p><初心者> ● 組み合わせ</p>	<p>9班の案を見ると珍しい表現があった。四国班の案。それも含め「心」をどう表すか検討。ほかの班の「心」は複数の表現があるが、標準手話の<心>は人差し指で腹を指さす。これが合うかどうか？</p> <p>また「初心」には2つの意味がある。1つ目は、何も知らない初めてのこと。もう1つは、最初に決めたことが大事だ、ということなので良い意味でも悪い意味でも両方に使われる。左胸に右手掌をあてて<最初>を表す意見に決まりかけたが、胸を捕まれるようにも見えることから、左胸の前で<最初>を表すことに。 ⇒左胸前で<最初>を表す ※東北、四国班の案を参考</p> <p>合わせて「初心者」の検討 ⇒<初心>+<~人・~者></p>
					東北	△	「初め」(決意を込めた表情)		
					関東	●	「初めて」+ 右手人差し指で左胸に円を描く。		
					北信越		初 + 心		
					東海	●	「最初」+「心」		
					近畿	●	「初めて」+「心」		
					中国	●	初めて + 心		
					四国	ア	心臓のあたりで/初めて/と表現する		
					九州	○	最初 + 心		
44	35	鳴かず飛ばず	<p>人目につくような行いや活動もしないで、ただじっとしていることのとえ。「三年も鳴かず飛ばず」と違って、現代では何の活躍もできないでいる人をさげすんだり、そうした自分を自嘲していることもある。</p> <p>(ことわざ決まり文句辞典より)</p>		北海道	ア	<我慢>+<スルー>	<p>ア アレンジ</p>	<p>意味からすると、左手掌の下に右手親指の先をあて親指を揺らしながら前に出す(<大器晩成(2007-86)の1動作目をアレンジ)表現が合うと思うが、本委員の中で<活躍>+<くない>の意見があったので検討を。</p> <p>「ことわざなので、意味を表すより言葉のままの表現でも良いのでは？」という意見も出たが、「ことわざなので、普段ろう者が使っている手話を使いたい。新たに創作する必要はない」ということで<大器晩成>の1動作目を利用することに。</p> <p>⇒<大器晩成>1動作目の親指を少し揺らす ※北信越班、近畿班の案を採用</p>
					東北	保	両手こぶしを左右から中央に寄せて下す(青森で使用)		
					関東	◎	顔を背けて、手の甲下で右手人差し指を立て体の右側で水平に回す。		
					北信越		まんねり		
					東海	保	右手をこめかみのあたりで小刻みに揺らす		
					近畿	保	据え置き		
					中国	○	人と同じ + 人 行く		
					四国	◎	やや下を向いて/口ばし/を下げ + /羽/折る様子(飛ばない)		
					九州	●	利き手中指をこめかみにあてる + 生活		
45	36	諸行無常	<p>世のすべてのものは、移り変わり、また生まれては消滅する運命を繰り返し、永遠に変わらないものはないということ。人生は、はかなく虚むなしのものであるということ。(goo国語辞書 学研四字熟語辞典より)</p>		北海道	○	<人生>+<虚しい(人々で)>	<p><むなししい> 保存手話</p> <p><諸行無常> ● 組み合わせ</p>	<p>9班の案を見ると、どの班も苦心の跡が見られる。保留としないで、きちんと議論することに。「諸行無常」とは、つまりは人生は、はかなくむなししいということ。まず、「むなししい」の標準手話のラベルが無いので表現を検討することに。新たに創作するのではなく、普段使っている表現はないか？</p> <p>近畿班の案がいいのでは。「夫が亡くなって寂しい」などで使う。 <むなししい> ⇒右手人差し指の先をこめかみにあて、他の4指を繰り返し軽くはじく(『新 日本語-手話辞典』512頁の<寂しい②>) ※近畿班の案を参考</p> <p><諸行無常> ⇒<人生>+<むなししい></p>
					東北	ア	「全部」+「同じ」(両手で)		
					関東	◎	2回「消える・失う」+「気持ち」+両手を揃えて5指の指先を付けたり離したりしながら前に動かす。		
					北信越		人生 + 変化 + 変化 + 変化		
					東海	●	「常に」+「変化」		
					近畿	ア	「寂しい」顔を下へ段々俯いていく		
					中国	×			
					四国	◎ア	左手/永遠/ + 右手二指で前方に移り変わり行く様		
					九州	○	世の中 + 変わる(手話辞典記載ありp.408)		
46	41	幅を持たせる	<p>一定の範囲内で融通が利くようにすること。(例:「法律の解釈に幅を持たせる」) (ことわざ決まり文句辞典より)</p>		北海道	ア	<幅>両手を左右に向かい合わせ、揺らす(2回)	<p>△ ラベルの追加</p>	<p>9班の案を見るとほとんどが同じ表現。事務局案 <間口(2008-40)>と同じ →書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。</p> <p>⇒<間口>と同じ ※関東、近畿、四国班の案を採用</p>
					東北	ア	「間隔」の右手を右に移動		
					関東	◎	小指下側、指先前向きで体の幅で立てた両手を、軽く広げたり狭めたりする。		
					北信越		両手で「幅」を表し、片手を微妙に動かしてゆとりを表現		
					東海	●	両手を左右に揺らし、「必要」		
					近畿	ア	両手で幅を広げたり狭くしたりする		
					中国	●	幅 + 広げる		
					四国	ア	傾きながら/幅/を少し広げたり狭めたりする		
					九州	●	両手の掌を向かい合わせ広げる		
47	42	縁の下の力持ち	<p>人に知られないで、陰で努力・苦心する人。また、大きな仕事を陰で支える裏方。古くは、陰で努力していても、正當に評価されないことの意味でも使われた。(例:この事業が成功したのは、大勢の縁の下の力持ちがいたからだ) (ことわざ決まり文句辞典より)</p>		北海道	ア	<助ける>の動きを下から上に少し力強く一度	<p>保 保存手話</p>	<p>事務局案 関東班の案を1回押し上げる →書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。</p> <p>⇒親指を立てた左手小指側を右手掌で斜めに押し上げる ※北海道班の案を採用</p>
					東北	◎	右掌を左掌の後ろに回して「援助」		
					関東	◎	親指を立てた左手の小指側を、指先を手前に向けた右手掌で斜めに2回押し上げる。		
					北信越		隠れる + 助ける		
					東海	●	右手の指文字「た」を左手で下から押す		
					近畿	ア	「人」+ 下から支える		
					中国	○	人をささえる		
					四国	ア	左手親指を出した左手の肘あたりを右手で/助けてもらう/		
					九州	●	裏 + 支える(残したまま) + 利き手のみで者を		

48	43	お茶を濁す	表面だけ取り繕ってその場を切り抜けること。 (例:「商談を持ち掛けられたが、世間話でお茶を濁して帰ってきた」) (ことわざ決まり文句辞典より)	顔の表情を含めても大丈夫です。	北海道	●	〈混ぜる〉+〈捨てる〉	保 保存手話	「お茶を濁す」とは、うやむやにしてその場を切り抜けるといった意味がある。 くもみ消す(わ6-149)の表現が意味に合う。1動作目だけでいいということに。 ⇒くもみ消すの1動作目 (口形・表情・体の動きを加える) ※近畿班の案を採用
					東北	◎	「承認」を軽く数回		
					関東	◎	両手の指を広げて掌を合わせ交互に円を描く + 両手親指側を付け、左右に同時に離す。		
					北信越		笑顔であいまいに頷き、後ろに放りやるしぐさ(この手話を検討していた時、なかなか相談がまとまらず、最後はあいまいに頷いていました。「お茶を濁す」を表現するときは、この表情が必要なのだと一同感じました)		
					東海	保	両手で交互に押す		
					近畿	保	両手でぼかすようにあわす		
					中国	●	適当 + ごまかす		
					四国	保	両手指先をやや曲げ 混ぜるようなしぐさ		
					九州	●	考える+両手の人差し指を向かい合わせ回転させる+利き手で出るを表現		
49	44	からにこもる	自分の世界を守るだけで、他と交わろうとしないこと。 (ことわざ決まり文句辞典より)	顔の表情を含めても大丈夫です。	北海道	△	〈引きこもる〉にラベル追加	ア アレンジ	9班の案を見ると、少し山型にした左手の下に右手親指を潜り込ませる表現が多いが、この1動作でいいか?。他にフードをかぶり顔を隠す、両手を顔の横にあてて隠れるような表現をする、などの案もある。 近畿班の案もいいが「頬かむり」の意味の方が合う。 また、シャッターを下ろすような表現も見られるが、左手の下に右手親指を潜り込ませる表現が意味に合うし、表現が容易。 ⇒山形に少し湾曲させた左手の下に右手親指を前方から引き込む ※北海道、東北、東海班の案を採用
					東北	◎	「隠れる」(小さく)+ 周りを見渡す		
					関東	◎	軽く曲げた両手を顔の脇から前へゆつくり動かし顔を隠す + 右手親指を立て体の前で水平に回す		
					北信越		ひきこもる + 見ない		
					東海	●	引きこもる		
					近畿	◎	顔の上から片手でもう一方の手を閉じるように表現		
					中国	○	壁を作る		
					四国	ア	胸の前で扉を閉ざす 顔はうつむいている		
					九州	●	両手で目を覆い隠す表現 + ひきこもり		
50	45	油を売る	江戸時代、髪や行灯の油を売る商人が、婦女などを相手に長々と世間話をしながら油を売っていた。そこから転じて、無駄話をするなどして、仕事を怠けることをいうようになった。(語源由来辞典より)	顔の表情を含めても大丈夫です。	北海道	●	〈サボる〉+ 時計の場所で(暇潰す)	△ ラベルの追加	9班の案を見ると複数案あるが、関東班の案が意味に近い。 事務局案 くおしゃべり・口述(わ3-118)と同じ(表情・姿勢をつける) →書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。 ⇒くおしゃべり・口述と同じ (表情・姿勢をつける) ※関東班の案を参考
					東北	保	目の下に右手を当てる(岩手県で使用)		
					関東	●	「おしゃべり」+「ひま・余裕」		
					北信越		かくれて(抜け出して)+ 遊ぶ		
					東海	●	「おしゃべり」+「逃げる」		
					近畿	保	「さぼる」(近畿でよく使われる)		
					中国	○	怠ける		
					四国	ア	つまんだ両手二指をゆつくり45度動かす 表情は笑顔 /時間がかかる・のアレンジ		
					九州	●	仕事 + 放り投げる(両手で表現) + 雑談		
51	46	種苗法	農作物などの種苗の開発者の権利を守る法律。今までにない新たな品種を育成した開発者は種苗法に基づき品種登録を受けることができる。登録品種は最長25年間(果樹などは最長30年間)、知的財産権の1つである「育成者権」が保護され、開発者は種苗を独占的に販売する権利が認められる。農家は開発者に対価を支払うことで新品種の栽培や出荷ができる。(日経ビジネスより)	〈人工種苗(2016-50)〉の〈種苗〉+〈法〉で大丈夫ですか?ご検討ください。	北海道	●	〈種苗〉+〈法〉	△ ラベルの追加 ● 組み合わせ	「人工種苗」「種苗」の標準手話があるので〈法〉との組み合わせで。 事務局案 〈受精・種苗(新IV-62)〉+〈法・法律(1-280)〉 →書面(メール)本委員会の結果、採用されることに。 〈種苗〉 ⇒〈受精(新IV-62)〉と同じ 〈種苗法〉 ⇒〈受精・種苗〉+〈法・法律〉 ※北海道、東北、近畿、四国班の案を採用
					東北	●	「種苗」+「法」		
					関東	●	左手で「種」。その上腕に右手人差し指で力こぶを描く(「力」)。「法、法律」		
					北信越		種 + 苗 + 法 (「人口種苗」の手話はそぐわないと話しました)		
					東海	●	「種」+「植える」+「法律」		
					近畿	●	「種苗」+「法」		
					中国	OK	問題なし		
					四国	●	/種苗(1-280) + /法/		
					九州	○	苗(利き手で表現、残したまま) + 守る(非利き手)+ 法		
52	47	探査	未知の物事について、さぐり調べること。 (例:「鉱脈の有無を探査する」「火星探査機」など) (goo国語辞書より)	顔の表情を含めても大丈夫です。	北海道	●	〈開拓(1回)〉+〈調べる〉	● 組み合わせ	「探査」は、機械を使って遠隔操作するようなイメージがあるので、9班の案にも〈調べる〉やその手形を使った案が多いが、「鉱山探査」など機器だけではない意味もある。どちらの意味にも合う表現が必要。 また、シンプルな動作がいい。 「火星探査」のイメージの遠隔操作する機器の表現がいいよという意見も根強く残ったが、最終的に右手〈探す〉+左手〈調べる〉の案を、右手だけの動作とすることに。 ⇒〈探す〉+〈調べる・検査・調査〉
					東北	○	両手で「究明」+「調べる」		
					関東	●	両手2指の輪を目の前で交互に回す(「探す」)+「調べる」		
					北信越		右手は探す + 左手は分析		
					東海	△	「探す」に同じ		
					近畿	ア	「分析」を縦に表現		
					中国	●	分析 + 調べる		
					四国	ア	体から話したところで両手で指文字/ろ/で探る様子		
					九州	●	分析(手話辞典記載あり)、前方に動かしながら表現		
21		防潮堤(ぼうちようてい)	防潮堤(堤防)と防波堤は、どちらも海からの波を防ぐためのものですが、役割は大きく違う。防潮堤は、高波や津波が上陸するのを防ぐ役割を持つ。防波堤は、港湾や漁港でよく見かけるもので、波浪の侵入を防止することで船舶を穏やかな状態に保つためにある。(保存食から始める防災術HPから編集)	〈防波堤(2012-55)〉 〈高波〉 〈高潮〉(2020-22・23)を参考に検討してください。	北海道	◎	左掌を前に向け右手を波の動きで左手に向かう + 〈堤〉	● 組み合わせ	事務局案 東北班の案がいいのではないかと。参考に。 左手を少し湾曲させて立て右手で波が打ちつければね返るイメージの表現 どちらも、波を防ぐものだが、防波堤に比べて、防潮堤はとても高いイメージ。案がまとまらず保留に。
					東北	ア	左掌を立て、右手「波」指先を止める		
					関東	◎	左手を小指側で立てる(堤)。水平で波打たせた右手(波)を左手に近づけ直前で上げて甲に付ける。指先を付けて立てた両手を同時に左右に開く(堤)		
					北信越		海 + (両掌を向かい合わせ)堤防		
					東海	●	「高潮」+「堤」		
					近畿	●	「防ぐ」+「堤防」		
					中国	○	壁 + 波 + とめる		
					四国	ア	/高潮/ + /防ぐ/ + /堤防/ のアレンジ		
					九州	○	非利き手を立てる + 利き手で波が寄せ、はねかえる様子		